

第6学年 国語科学習指導案			授業者		
場所	6年	日時	6月6日(木)第5校時	本時	5/8
単元名	筆者の意図をとらえ、自分の考えを発表しよう 「笑うから楽しい/時計の時間と心の時間」				
ねらい	「心の時間」の特性についての事例を的確に読み取り、筆者の考えや説明について自分の考えをもつことができる。				
過程	本時の展開				
	学習内容	指導・援助 ※評価規準			
つかむ(8)	<p>1 これまでの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「心の時間」に目を向けることが、時間とつきあっていくうえで、とても重要であると考えていて、1, 7, 8段落に書かれていた。</li> <li>心の時間は、様々な影響を受けて進み方が変わったり、人によって感覚が違ったりするという特性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者が伝えたいことは何だったか、それは何段落に書いてあるかを確認する。</li> <li>心の時間の特性について確認する。</li> </ul>			
考える(15)	<p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>第3段落～第6段落の事例を読み取り、心の時間の特性について自分の体験を入れてまとめよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3段落から6段落を各自黙読し、各段落に書かれている「心の時間」の事例を読み取り、本文に線を引く。</li> </ul>			
深める(10)	<p>3 「心の時間」の特性の事例を読み取る。(一人読み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第3段落：夢中になっている時間はあっという間に過ぎるが、つまらないと感じる時間は進まないように感じる。</li> <li>第4段落：朝や夜は昼に比べて時間が経つのが早く感じる。</li> <li>第5段落：身の回りから受ける刺激が多いと時間の進み方が遅く感じるのではないかと考えられる。</li> <li>第6段落：人それぞれ違う感覚で時間と向き合っている。</li> <li>ゲームをしているとあっという間に時間が経ってしまっている。だから第3段落の意見はよく分かる。</li> <li>物がたくさんある部屋の方が、時間が長く感じるのはあまりわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例が読み取れない児童には、「進み方」「感覚」というキーワードに着目させて読み取らせる。</li> <li>筆者の主張や事例に対して、自分はどのように考えるか、思い当たる経験について考えさせ、ノートに書かせる。</li> </ul>			
まとめる(12)	<p>4 一人読みで読み取ったことを、全体で交流する。(仲間読み)</p> <p>5 本時で学習した内容をまとめる。(まとめ読み)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>第4段落の例のように、朝起きてから家を出るまでの時間が、昼と比べてあっという間に過ぎるという経験がよくある。だから心の時間の、「さまざまなことからの影響を受けて進み方が変わる」という特性に納得できる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3～6段落の例が、2つの特性のどちらに当てはまるのかを、確認する。</li> <li>筆者の意見や考えに対して納得できる経験など自分の考えを踏まえて、「心の時間」の特性をまとめさせる。</li> <li>第3次に繋がるように「第○段落の例のように・・・という経験があったから、心の時間には～という特性があると納得できる。」という話形で書かせる。</li> </ul>			
	<p>6 本時の学習をふり返り、次時の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※・筆者の考えや説明について、自分の考えをもつことができる。 (読(1)ウ)</li> <li>筆者のいう「時計の時間」「心の時間」の関係を的確に読み取っている。 (読(1)ア)</li> </ul>			